

## 背景(取り組むきっかけ)

地震発生後にとるべき行動がわからない



地震発生後にどうすべきかを表示してくれる  
アプリシステムを制作する

### 【アンケート結果 回答者 168人】

地震発生時に情報収集のために使ったツールは？  
揺れ発生時                      揺れがおさまった後



図1 実施したアンケートの結果

## システム作成

- Pythonを用いて、地震発生後の行動を表示するプログラムを作成  
→Git HubとStreamlitを用いて、アプリ化を行った
- audiomassを使い、ダウンロードした音源を編集  
→緊急地震速報の音声データを作成

## 工夫した点

- 日本語/英語対応
- 地震発生時の行動を事前にシミュレーション可能  
→避難訓練等で活用が可能
- 完了ボタンを押すと次の行動が表示される  
→それぞれのタイミングに合わせることが可能
- 音声読み上げ機能搭載
- 既存のものとは違う警報音を作成

## 提案(解決策のアイデア)

### 【オンライン会議】

- 事前シミュレーション→避難訓練で活用
- 地震情報をバックグラウンドで入手  
→仮の地震情報を用意し、シミュレーション
- バックグラウンド再生  
→サーバーからデータを持ってくる

## 取り組み(行動と成果)

### 地震速報アプリ

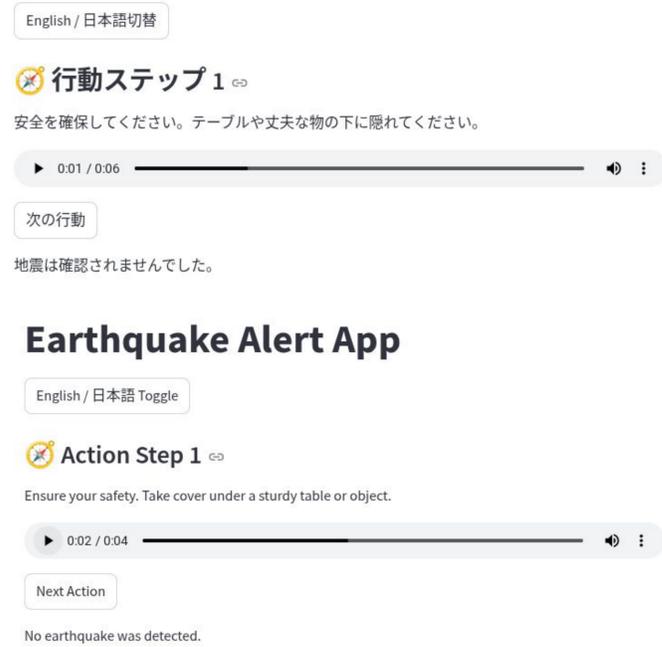


図2 表示される画面(上:日本語 下:英語)

## 【アプリの流れ】

- ①警報音を鳴らす
- ②行動を指示する  
→地震直後の混乱を防ぐため、行動をナビゲート
- ③ボタンを押して次の行動を表示  
→1つの行動が完了したら次の行動へ
- ④安全な場所への避難を促す  
→安全な行動へ誘導

## 問題点と改善方法

- バックグラウンド再生ができない  
→サーバーからデータを持ってくる

## 今後の展望

バックグラウンド再生が実現したら、実用性がより高まるのではないかと  
避難訓練で、本番を想定した訓練を行うことができる

## 連携

ゆれくるコール | アールシーソリューション株式会社